|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 臨床看護技術演習 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 45時間(内15時間) |
| 担 当 者 | 近藤　大作(臨床経験23年) | 学　年 | ２学年 | 開講年次 | ２学期 |
| 目的 | 実践に即した技術演習を通して、専門職としての責任感と倫理観を身につける。 |
| 科目目標 | 1. 複数患者と多重課題のもとで、起こりやすい点滴静脈内注射の危険がわかる。
2. モデル人形を用いて、対象に応じた安全で確実な注射技術ができる。
 |
| 回数 | 授業計画・内容 | 方法 |
| 1回2回3回4回5回6～7回8回 | 1. 複数患者と多重課題のもとで安全で確実な注射および管理
2. 複数患者と多重課題のもとで起こりやすい危険とその対策
3. 複数患者と多重課題のもとで起こりやすい危険とその対策

安全で確実な点滴静脈内注射の実施1. 輸液ポンプ、シリンジポンプの管理

点滴静脈内注射の実際1. 薬液の準備（バイアル、アンプル）
2. 点滴静脈内注射の実際

６．７．点滴静脈内注射の実際８．終了試験（45分） | 個人･グループワーク個人･グループワーク講義個人学習演習演習技術チェック |
| 准看時授業内容 |  |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　看護学概論　基礎看護学①』医学書院　　　 『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②』医学書院　　 　『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③』医学書院　　　　『系統看護学講座　薬理学』医学書院 |
| 評価方法 | 学習態度、学習成果物、筆記試験 |
| 関連科目 | 診療に伴う技術、臨床微生物、薬理学、医療安全、看護管理、看護倫理 |
| 備考 | より臨床に近い疑似環境下で実践に即した演習をおこない、状況に応じた看護が実践できる能力の向上を目指します。  |